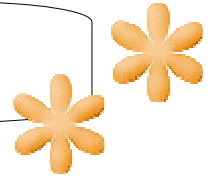




NPO 法人大人の学校
代表理事 吉田文枝

学校へ行くよ!

プロジェクトへの寄付を
お願いします!



●NPO 法人 大人の学校のプロフィール

生活クラブから生まれた教育事業を行う NPO 法人、運動グループ団体のひとつです。研修や食、健康、環境、手作りをテーマに講座を企画し、地域のニーズに応じた講師派遣も行っています。

●2014 年度「学校へ行くよ！」プロジェクト進行中!

「学校へ行くよ!」プロジェクトは、小中学校の総合学習の授業に取り組むためのチームです。2014 年度は授業を行うメンバーを増やし、使用する教材を整えるなどの準備を進めます。

●埼玉でも子どもたちと一緒に考える「食と環境」の授業を広げていきたい!

身近な食に関するお買い物ゲームやクイズを使って、毎日の食と地球環境のつながり、私たちの食のあり方について学びます。子どもたちが「地球にやさしい食」について考え、実行することは、日本の農業の未来にも関心を持ち、食べ物と食べ方を大切にする消費者を育てることにつながります。※授業では、東京の NPO 法人コミュニティスクールまちデザインが作成した『私の食が世界 地球をつくる』プログラムを使用する予定です。

●みなさんからの寄付金で、教材を整えます

- ★黒板用の大きな世界地図 6部
- ★食材カード 1 班に約 50 個、1 クラス 6 班として 300 個×6 クラス分 合計 1200 個作成。
(カラーコピー代と裏貼り用のマグネットシート代)
- ★世界の飢餓状況を現す地図(ハンガーマップ) 6部
- ★その他、たくさんの貼り紙(手作りの教材)



授業デモの実践練習のようす
(貼り紙の多さを実感してください)

目標額は、6万円です

1000 円以上寄付していただいた方には、大人の学校の講座の割引券を差し上げます。



NPO 法人 大人の学校
さいたま市南区別所 5-11-11 電話/FAX 048-866-9466
ホームページ <http://otonanogakkou.org>

フェイスブックページもごらんください♪→



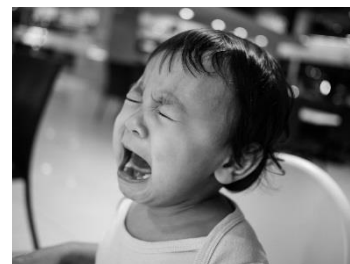
子育て世代を応援するために 寄付をお願いします



💡 子育ての悩み 1位は 「わかっているけど、ついイライラ」

子育てによる「イライラ」の原因は共働きであることへの罪悪感や、しつけのプレッシャーがあります。最近の調査によると「子育て中の母親の孤立化」がさらに進んでいることも明らかになっています。核家族化が進み、近所付き合いもない社会では相談する相手もいません。虐待は、特殊な状況に置かれた人が行うもの、とは限りません。

(平成 25 年度には 475 人の子どもが虐待被害に遭っています。)



💡 子育て支援が必要です

私たちはノーバディズ・パーフェクト (NP) プログラムの講師派遣を行っています。13 年度は本講座 11 回・体験ワーク 18 回の講師派遣を行いました。今後の計画として、NP プログラムと併せてコモンセンス・ペアレンティング (CSP) 講座による子育て支援も進めたいと考えています。この講座は、子どもが社会に適応し愛情豊かな感情を育むための具体的な方法を親が身に着けることで、大人と子どもの信頼関係が出来、子ども自身が適切な社会スキルを多く身につけて社会で成功する可能性を高めます。



💡 公的支援は足りていません

皆さんの力を貸してください

子どもは社会の宝です。地域みんなで育てていくものです。

越谷市・熊谷市など一部の自治体では市民向けに CSP 講座を開催していますが、年に 1～2 回の開催で人数制限もあります。私たちは CSP 講座『どならない子育てを学ぼう』の開催準備を進めています。年度内に 1 クール 6 回の講座を開催する予定です。必要経費の寄付をお願いします。寄付をして頂いた方には受講者からの“ありがとうの声”をお届けします。



目標金額
76,200 円



NPO 法人コミュニティケアクラブ埼玉

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所 5-1-11 生活クラブ生協内

Tel&FAX 048-764-9366 E-mail ccs0527@ace.ocn.ne.jp <http://www3.ocn.ne.jp/~ccs0527>



彩の国資源循環工場と
環境を考えるひろば

フィールドでの調査活動
スタッフ募集!



桜調査

サクラ調査
ネットワーク
に参加



松葉調査

松葉による大気調査実行委員会に参加
株式会社環境総合研究所に分析依頼



ECメーター、パッ
クテストにて判定
気になるものにつ
いては外部委託

水質調査

彩の国資源循環
工場についての活動を通じ
て、大量生産・大量消費・大
量廃棄の社会の仕組みを
見直し、地球にやさしい
本来の資源循環型社会を
目指そう!



放射能測定

NARIKA ME-113(直径55mmの
バンケーキ型GM管式・β線とγ線)
とHORIBA PA-1000 Radi(シンチ
レーション式・γ線)の2台で測定

各種調査活動をするにあたって特別な専門性は必要
ありません。自然環境に対する愛があればOKです。
フィールドは、埼玉県寄居町と小川町の境にある彩の
国資源循環工場周辺となります。



Facebook QRコード

よ〜いどん! オフィシャルfacebookをチェック!
[https://www.facebook.com/pages/環境ひろば/
713496438693302](https://www.facebook.com/pages/環境ひろば/713496438693302)

新HP
[http://ecohiroba.jimdo.com/
旧HP](http://ecohiroba.jimdo.com/)

<http://ecohiroba.net/>



環境省「水生生物による水質判定」
埼玉県「川の応援団」に参加

水生昆虫調査

県民のゴミ処理施設・循環工場周辺の空気を松葉でみんなで調査。
水銀・ダイオキシンは悪化の一途！止められない、このままじゃ

松葉による大気調査実行委員会



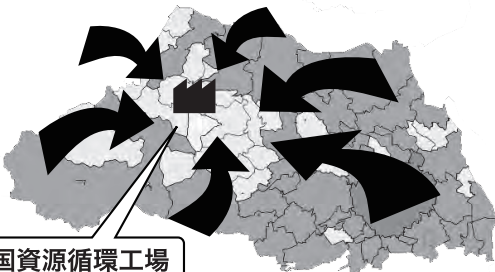
松葉調査ゆるきゃら まつクマちゃん



参加したみなさんと一緒に/主催:生活クラブ熊谷ブロック

わたしたちは、生活クラブ寄居支部、生活クラブ小川支部、まちネットワークより、彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば、ワーカーズコレクティブキッチンそら豆の5団体と、趣旨に賛同する個人でなっています。

●みんなが捨てるゴミだから、多くの人に関心を持ってほしい。



彩の国資源循環工場

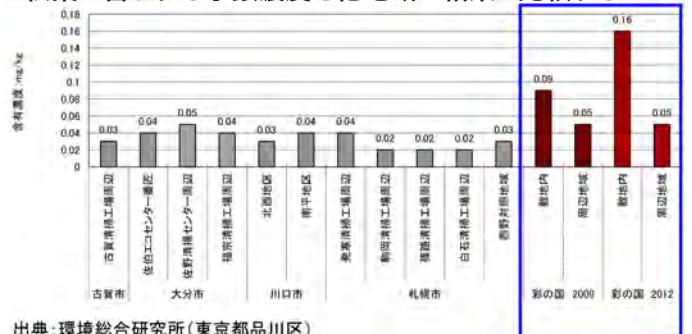
埼玉県が全面関与している「彩の国資源循環工場」は、埼玉県民の私たちが出したゴミが、さまざまなルートでこの工場に搬入され、焼却などリサイクル処理されています。



松葉採取風景

今年度も9月に松葉を採取し、調査をする予定です。

松葉に含まれる水銀濃度を他地域の結果と比較すると



出典:環境総合研究所(東京都品川区)

●敷地内・周辺地域とも、他地域の焼却炉周辺と比べて高い濃度が検出されている。他地域の3倍もの高濃度。ダイオキシンの場合には、アカマツはクロマツの1/2の濃度となること分かっている。マツの針葉の単位面積当たりの呼吸量を考えると、水銀の場合もクロマツに換算した場合、さらに高くなる可能性も考えられる。

埼玉県民である私たちは何らかの形で、この施設に関わっています。

●少額でも多くの協力を！

前回のカンパの余剰金が約14万円です。松葉によるダイオキシン類と重金属類測定の実費が33万円なので、今年度の調査には約19万円必要です。

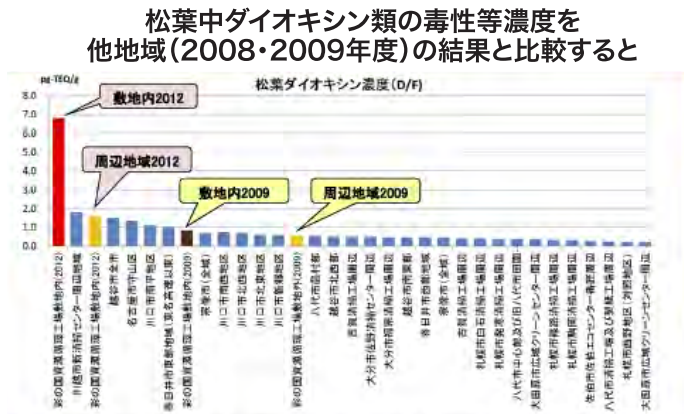
目標金額: 15万円



Facebook QRコード

2,000円以上寄付をいただいたみなさんにHPではダウンロードできない資料とまつクマちゃんクリアファイルを贈呈します。

よ〜いどん！オフィシャルfacebookをチェック！
<https://www.facebook.com/matu.tyousa>



2008年度、2009年度に松葉調査を行った地域の結果と比較すると、今回の彩の国資源循環工場敷地内の濃度6.8pg-TEQ/gは極めて高く、10年前の産廃焼却炉周辺と同等のレベルとなっている。 出典:環境総合研究所(東京都品川区)

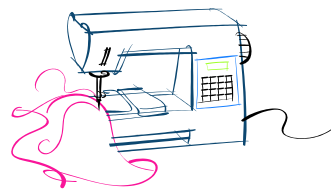


埼玉県へ行政申請を提出



ミシンカフェとコミュニティスペースの

ワークスペース・コレクション つむぎ 紬



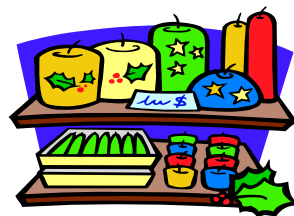
どんな居場所があったら地域の様々な人が気軽に立ち寄って交流できるのか？
くらぶルームに長らく関わってきた私たちは、新たな自前の店舗を持ちました。
幾つになっても素直に学び合い、育ち合いを楽しむコミュニティーサロンです。

福祉施設の皆さんの手作り作品を店内に常設展示し、

販売する資金のご支援をお願いします。

紬の事業の1つ、チャレンジ箱BOX(レンタルBOX)は、

手作り作家の皆さんに店内の棚を1ヶ月500円~2,000円で借りて頂き、
作品を展示販売しています。今回は、福祉施設の皆さんが1年間その棚
代の負担無く作品を販売できるよう
チャレンジ箱(レンタルBOX)棚代のサポートをお願いします。



多様な人が行き交う事をめざして 紬には、ミシンカフェ・各種教室・音楽ライブ・

レストラン・カフェなど様々な顔があり、森の水場のように様々な人が様々な思いで出入りしま
す。チャレンジ箱(以外BOX)を利用する新たな手作り作家が増え、ますます多様な人が行き交
う場所で、互の違いを理解し尊重し合う心をより大きく育てていきたいと考えています。

目標寄付金額 10万円

*1,000円以上寄付をしていただいたみなさんに

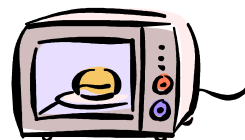
コーヒーを一杯サービスさせていただきます。

*寄付目標額の内訳は：1ヶ月の棚代2,000円を4個12ヶ月分で96,000円+棚購入費4,000円

同時に現品の寄付をお待ちしています！



*電気オーブン(カフェ事業充実、料理教室メニュー拡大)



*毛糸、布(紬の趣旨に共感し支援頂ける方の寄付をお待ちしています)

人材も募集しています

*各種講座講師(紬スペースで教室・講座開催)

〒353-0004 志木市本町5-7-15-101

☎090-8841-4658 清水

Facebookで随時情報をアップしています。⇒

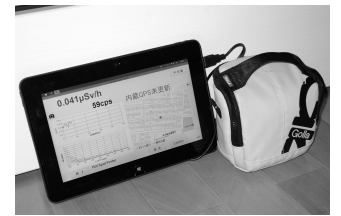


子どもたちを放射能から守ろう 放射線見える化プロジェクト埼玉



ごあいさつ

HSF市民測定所・深谷の代表小泉です。子どもたちを放射能から守りたい、原発のない未来を残したい、その実現を目指しています。



HSFについて

(ホットスポットファインダー)

GPS連動の放射線計です。大容量高感度のシンチレーション検出器とタブレットPCで構成され、移動しながら放射線を測定、リアルタイムに測定値を地図上に表示し、自動的に保存していきます。HSFは、検出器が高性能であることから、測定の手間や時間が省かれ、かつ、正確な測定値を出すことが、環境省福島環境再生事務所の実証試験報告書で証明されています。

facebook 公式ページでは随時、測定データを公開しております。

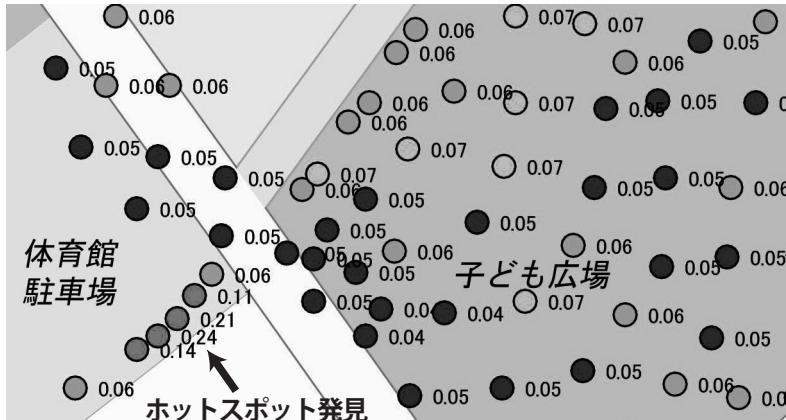


●プロジェクト1

GPS連動の高性能放射線計を用いて、地域のみなさんと協力しながら、子どもの集まる場所を測定し、ネットで公開するとともに「公園放射線MAP」を発行して無償配布します。

(MAPは「深谷編、熊谷編」を発行済み、現在、東松山・比企でプロジェクト進行中)

●プロジェクト2 行政の測定が見落としていたホットスポットを見つけ、通報し、地域の放射線低減化に貢献します。



右の地図では駐車場の隅でホットスポットを発見し、直ちに行政に通報、1週間後に除染完了の連絡がありました。

●プロジェクト3

保育園・幼稚園、福島の子どもの保養施設、自宅など、汚染状態が心配な場所を団体・個人問わず、依頼に応じて測定をいたします。

(測定リクエストとして受付中。ネットで公開可能な公的なスペースは無償。非公開の測定は法人5,000円、個人3,000円で実施)

よーいどん！「市民事業寄付制度」

「HSF放射線見える化プロジェクト埼玉」応援のお願い

経済的寄付 目標金額 70,000円

機器の維持費、公園放射線マップの発行等で年間14万円前後の資金が必要です。活動資金の半分をみなさんの応援でお願いします。

なお、寄付をしていただいた皆さんには、年間4回発行予定の「公園放射線MAP」をお届けします。また、5,000円以上の寄付をしていただいた方には、ご希望の場所（埼玉県内、測定2時間以内）を測定できる、無料測定チケットを送ります。

技術的寄付 HSF測定係・データ処理レポート作成係

測定地域拡大のため、測定オペレーターを募集します。高額機器ですが、動産保険に加入しているので、安心して運用できます。

また、データ処理とレポート作成には測定と同じくらいの時間がかかります。photoshop等の画像処理やPCが得意な方を募集します。

三富江戸農法の会 サポーターズクラブ 代表 岩井 謙



『循環型農法の継承。』

その中で子ども達に自然の楽しさ、素晴らしさ、偉大さを感じてもらおう活動を行っています。

『皆さんの身近に緑はありますか？』

緑は私達にとって癒しの色として必要なものです。

三富新田は昭和 36 年から 40 年間で農地は25%、山林は44%減少しています。

私達は「にほんの里山百選」に選ばれた三富新田の雑木林(ヤマ)で循環型農法(三富江戸農法の会)のお手伝いを中心に活動しています。



『たくさんの方々のお力が得られますように・・・。』

人と人が公平な立場で、出会い、触れ合えば、心が開放され、語り合う時間ができます。

語り合ううちに、共感することができ、心が豊かになります。

心が豊かになれば、「笑顔」が生まれます。

そして、生きる力をこの自然からいただきます。

この活動に賛同して下さる他団体のみなさんの協力を得ながら、地元の農家の方が落ち葉堆肥を利用し、昔ながらの方法で、環境に優しく

そして、安心・おいしい野菜が食べられるこの幸せがずっと、続けられますように。

この環境がもっと広がっていきますようにと願っています。

草刈り機まさお
です。



目標額は **20 万円**です。

現在、4ha の下草刈りの範囲を『草刈機まさお』導入により5haに拡大していきたい。そして多くの方に雑木林の手入れに来ていただきたいと思っています。

よろしくお願ひします!!

岩井です。
気がつけば・・・、
活動を始めて 12 年。
生活クラブ、所沢ブロックの
皆さんをはじめ沢山の団体と
活動してきました。
毎年同じ作業の繰り返しですが、
発見することは沢山あります。
その中の一つ
『丁寧に続けること。』
ヤマからのおくりものです。



『生活することは、心豊かに生きること』

都市近郊農業地域である「三富新田地域」で歴史ある循環型農業。緑地保全活動を通じて、地元農家にかかわりあいながら、人と自然の共生を学ぶことがとても大切だと思っています。

そして、未来を担う子どもたちにも「武蔵野」風景・風土を実感できる雑木林(農用林・ヤマ)を「食・健康・遊び」の場として体験してもらいながら、循環型農業の大切さを教え、守っていきたいと思います。



※ Facebook で情報をアップしています。

500 円以上寄付して
頂いた方 & 雑木林の手入れ
に来てくださった方に
間伐材で作ったオリジナル
コースターを差し上げます。

目標寄付額

38万円

3,000円以上ご寄付の方に
美しい水源の森
ポストカードプレゼント

寄付期限 8月23日

水源の森 両神の自然を守ろう プロジェクト

私たちは2002年より、みんなでお金を出しあい、
埼玉県民の水を育む秩父の森を買い取って守る「水のトラストしよっ基金」を展開しています。
それは、水源の森の所有者が次々と変わるなど不安定で、現状では確実に守り続けるしくみがないからです。
近年では海外資本による土地取得も懸念されています。

今回の「水源の森 両神の自然を守ろうプロジェクト」は、
先祖代々、自然の恵みを大切にしながら森を管理してこられた山主のご意志を尊重し、
未来の子どもたちが、おいしい水と空気、
そして多くの生きものからの恩恵を授かれるよう、守りつなぐことを目指しています。

両神山ナショナルトラスト1号地を見てみよう

両神山(標高1,723m)は、日本百名山のひとつでもある奥秩父の名峰です。
2014年3月、両神山では1番目となるトラスト地を取得しました。サワグルミ、シオジ、ブナ、ミズナラなどが
生い茂り、秩父の豊かな自然の象徴であるクマタカやツキノワグマ、カモシカの生息域にあたります。



水源地の森を守る
水のトラスト
しよっ基金

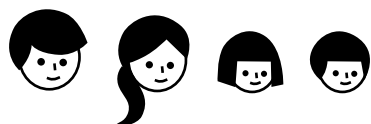
あなたの水は、
秩父の森が支えています。

38万円で3,800㎡の森を買い取り永久的に守ります



3,800㎡の森

=



1 家族分の生活用水が
永続的にまかなえます

facebookで
私たちの活動をチェック!





小高真由美

「暮らしと環境—市民調査の会」を立ち上げます。市民自ら測定し、身近な環境の現状を把握し、学びながら改善策を模索、提示していく—そんな会にしようと、動いています。

市民の市民による市民のための 環境調査！プロジェクト

稼動前の新クリーンセンターのダイオキシン松葉調査の実現

●市民が自ら環境調査「暮らしと環境—市民調査の会」

行政の出す環境データって本当に信用できるのでしょうか。ダイオキシン類の測定も年に1回だけの事業者による測定をその年の値として出しているそうです。また、数値が低い場所を選んで測定しているとか、測定業者は行政の要望に合わせた数値になるような測り方をしているとか、そんな「噂」も飛び交います。やはり、市民が自ら測定することが絶対必要！と思います。学びながらなるべく簡単な方法で市民が測定し、現状把握し、改善策を提示していく。そんな活動の中で、身近な環境を大切にしようという気持ちも大きくなっていくのではないかな、と思います。放射能を含めたすべての公害物質を対象とした「暮らしと環境—市民調査の会」を立ち上げます。

●一番初めのプロジェクト—何としても、今、やらねばならない松葉調査！

さいたま市桜区新開に新クリーンセンターが建設中です。来年(2015年)4月に稼動予定ですが、その前にどうしてもダイオキシンと重金属類の松葉調査を行いたいのです。

センター内にはゴミ処理のガス化熔融炉が建設され、可燃物、リサイクルできない不燃物、そして市内の他の施設から焼却灰やし尿汚泥までが持ち込まれ熔融されます。

さいたま市では、「環境負荷の少ない循環型社会の実現」を目的に建設しているとしています。しかし、行政がいくら「クリーンで安全」と言っても、どうしても安心できません。1日の処理能力380tの焼



建設中の新クリーンセンター

却炉(190t×2炉)が24時間稼動し続けるのです。すぐ近くに住宅があり、田島小学校、田島中学校、新開小学校もあります。稼動し始めればPFI方式なので、センターの運営は業者まかせになるようです。いったい、誰がチェックしていくのでしょうか。市民が自ら行動していかなければならないと思います。

今後、継続的に市民で測定・調査をしていくために、まだ稼動していない今年度に松葉調査を行い、稼動後と比較し、評価できるようにしたいと思います。この調査が私たちの会の一番初めのプロジェクト。できるかどうか今後の活動に大きく影響します。どうか皆さん、資金的なご協力をよろしくお願いいたします。

松葉調査の見積もりを環境総合研究所にお願いしました。池田こみちさんから、できれば、2検体の調査を行った方が有効と言われ、2検体の金額を目標にしています。以下の通りです。大変大きな金額ですが、どうぞよろしくお願いいたします。



田島中学の生徒たち

ダイオキシン類測定分析費 124,000円×2検体=248,000円
 金属類 29,000円×2検体=58,000円
 計 306,000円+24,480円(消費税8%)=330,480円

目標金額 330,480円

寄附をしてくださった方には、結果をメールや郵送等でお知らせすること、報告会のご案内をさせていただきます。慣れないFacebookで、なんとか情報発信しようと苦戦中ですが、お立ち寄りください。

